

↓来館者 50,000 人達成をくす玉割りでお祝い



まちの話題をお知らせします。

町立図書館が新館開館以来

来館者数50,000人を達成

1月9日に、町立図書館の来館者数が新館開館以来、50,000人を達成しました。

図書館では、一昨年11月開館以来、新館で多くの方に本に親んでもらうため、さまざまなイベント等を開催し、来場者数の増加を図ってきました。

この度、50,000人目に来館された上登能和子さん・海琉さん(興道寺)には、くす玉を割ってもらった後、記念品として、図書カード等が贈られました。



50,000人目来館者の

上登能和子さん(左)
上登能海琉さん(右)

今日は、記念品までいただきありがとうございます。

毎月図書館で行われている「よちよちおはなし0・1・2」に孫と参加しています。

新図書館は、明るくきれいで良いですね。

↓耳川に向けて一斉放水を行う美浜消防団員



火災のない町を目指して

美浜消防団出初式

1月5日に、美浜消防団出初式が耳川左岸等で行われました。

式では、17台の消防車から耳川に向かい一斉放水を行った後、消防団及び防犯隊約150人の団員が消防車を従え、はあとびあ前を分列行進しました。

行進後には、消防署横で観閲式が行われ、敦賀美方消防組合副管理者である山口町長から観閲を受けました。



↑分列行進する消防団員

↓由紀さおりさんと園児、客席が一体となり振り付きで「手のひらを太陽に」を合唱



世代を超えて受け継がれる日本語の美しさ

童謡で伝える会

12月13日に、童謡で伝える会がせせらぎ保育園で開催され、町内の年長園児や保護者等約170人が参加しました。

このイベントは、由紀さおりさん(歌手)をお招きし、童謡を通して日本語の美しさや人の心の温かさ、ふるさとの風景等を幼児と保護者が一緒に体感する機会として開催されたものです。

園児たちが元気に歌を發表した後、由紀さおりさんが童謡を優しい声で歌い、会場は温かい雰囲気に包み込まれていました。



↑「子どもを寝かせる時にゆったりとした声で童謡を歌ってあげてください」と話された由紀さおりさん

↓まな板の上の鯖をさばく上田智也さん(左)と石川雄大さん(右) ↓弓を放つ久保正栄さん(左)と高木誠さん(右)



日向区に江戸時代から伝わる神事

板の魚

1月1日に、板の魚が日向の稲荷神社で行われました。この行事は、その年の海上安全と豊漁を祈願するために毎年元旦に行われています。

神事では、区民約50人が見守る中、「若い衆」と呼ばれる袴姿の児童2人が、今年の恵方である東北東を向き、「大漁、大漁、大漁」と声をあげ、まな板の上の鯖を見事にさばきました。



五穀豊穡と地域の繁栄を願い

弓打ち講

1月9日に、弓打ち講が新庄の八幡神社で行われました。

この行事は、放った矢が的から外れることで、その年の豊作と厄払いになると伝えられています。

神事では、2人の射手が「ヤリマシト」と叫びながら6本ずつ矢を放ち、的から大きく外れた矢は、最後に矢拾い役が的に突き刺し、神事を締めくくりました。

健康・福祉・子育てに関する
情報をお知らせします。

〔2月は生活習慣病予防月間です〕

げんげん運動の推進

町では、生活習慣病にかかる医療費の割合が高いことや、町民の死亡原因に「高血圧・心臓病・脳血管疾患等の循環器病」が多くを占める等の健康課題を解決するため、今年度から適正な塩分摂取（減塩）と適正なエネルギー摂取（減量）を2本柱とする「げんげん運動」に取り組んでいます。

今月号では、げんげん運動を推進をする実践団体の中から、「食生活改善推進員」「保健事業推進員」「母子保健推進員」「健康づくり応援隊」の取り組みを紹介します。

※お問い合わせ先

町健康づくり課（担当・岸本）

☎ 32 - 3 1 1 1



保健事業推進員 食生活改善推進員

減塩料理の紹介や調理実習等の健康教室、各家庭の塩分濃度測定といった「げんげん運動」を町民に広める活動を行っています。

▼町内11集落で減塩減量をテーマにした調理実習を実施



↑減塩料理の調理実習を行う興道寺区の皆さん

▼清水知美さん（野菜ソムリエ）による「野菜の効能」についての講演



↑講師に質問をする松原区の皆さん

母子保健推進員

減塩料理の調理実習に加え、離乳食のとりわけ方等について研修を受け、乳幼児期から薄味の食事をする大切さを町民に伝えていきます。



↑薄味でおいしく食べるコツを学ぶ母子保健推進員

各教室受講の感想

- ★ 家庭の味より薄く感じました。急に薄味にしても家族は食べてくれないため、少しずつ慣らしていこうと思います。
- ★ 一回の食事でこれだけの野菜を食べていませんでした。普段いかに野菜が少ないか知りました。
- ★ 夫が漬物をたくさん食べるので、あらかじめ皿に取り分けておこうと思います。



健康づくり応援隊 「げんげん一座」

げんげん一座は、げんげん運動の認知度向上を目的に、昨年7月に9人で結成されました。

美浜ナビフェスやはあとびあまつり、はあとふるウオーク等のイベントで、シヨートコントやクイズ等を行い、今後もげんげん運動の認知度80%を目標に、普及活動に取り組んでいきます。



↑はあとびあまつりでPRするげんげん一座



↑みはまナビフェスでげんげんクイズを行うげんげん一座



ふれあってあそぼ♪

乳 幼児期には、身近な大人とのふれあいにより、心と体の発達が促されると言われています。肌のふれあいはもちろん、優しく大切に思う心を持ち、目と目を合わせ、ほほ笑みかけ、あやし、話しかける等のスキンシップを通して、情緒的な絆と信頼関係が育まれます。

このスキンシップを楽しくすぐに取り入れられるのが、手遊びや歌遊びです。歌や振りを覚えて完璧にしなければならないということはありません。ただ「こちょこちょ～」と声に出し、ほほ笑みかけながらくすぐったり、手をなでながら歌ってあげるだけでも、立派なふれあい遊びになります。くすぐられることが好きな子、抱っこでゆらゆらと揺らしてもらうことが好きな子等、好きな遊びは子どもによってさまざまです。

大人も一緒に楽しみながら、子どもが好きなふれあい遊びを見つけて繰り返し遊んでください。

♪ あがりめさがりめ ♪



①あがりめ



両手の人指し指を
目尻に当てて、
上にあげる

②さがりめ



目尻を下にさげる

③ぐるりとまわして



目尻をまわす

④ねこのめ



目尻を外側に引っ張ったり、中央に寄せたりして、いろいろな表情を作る

※昔からある遊びの一つです。地方によって節や歌詞は違いますが、子どもの頃楽しんだ方法で遊んでみてください。

※お問い合わせ先

子育て支援センター ☎32-0192



インフルエンザの治療

イ ンフルエンザの治療には、大きく分けて、飲む薬、吸う薬、点滴の3種類を使用します。今回は、インフルエンザの薬や治療法について知識を深めましょう。

ウイルスを徹底的に排除

3種類のうち、飲む薬は、副作用の報告事例等もあり、10代の方には使用できません。10代以外の方には現在、直接的な副作用はないと考えられており、使用されています。10代の方や、副作用を気にする方には、吸う薬を使用します。吸う薬は、1日だけ吸えばよいものと、5日間繰り返し吸うものがあります。インフルエンザによる肺炎等、重症の場合等には点滴での加療がお勧めです。どの種類の薬でも、治療効果は十分とされています。

ただ、今後、薬が効かなくなることも予想され、この事態を回避するためには、医師の指示を守り、最後まで薬を使用し、ウイルスを徹底的に排除することが重要になります。

他国の治療法

実は、世界中で日本ほどインフルエンザの治療薬を使用している国はありません。

他国では、一般的な風邪(ウイルス性上気道炎)と同じように、咳や熱に対する治療薬を使用し、栄養と水分をしっかりと取りながら、安静を維持するのみです。治療薬ではなく、安静と水分や栄養摂取がいかに大事であるかということを再認識させられる事実です。

※お問い合わせ先

東部診療所(村寄医師) ☎37-2911



昔とふるさと よもやま話 (22)

節分の民俗

節分とは季節の移り変わりのこと
で、立春・立夏・立秋・立冬の前日
は全て節分ですが、特に立春の前の
日をいいます。

立春や立夏は二十四節季の一つ
で、二十四節季には夏至や大寒等も
含まれています。お茶摘みの八十八
夜や、台風がよく来るとされる
二百十日は立春から数えます。

旧暦の日付は現在と四十日ほどず
れること(旧暦の一月一日が現在の
二月十日ごろになる)や、昔の暦に
よつては立春を年の初めとすること
から、節分には年越しの行事が残っ
ています。

鬼を追い払う「鬼遣らい」も、も
とは宮中で行われていた大晦日の行
事「追儺」に由来します。鬼に扮し
た役人を大声を上げて追い回し、貴
族たちが桃の弓に葦の矢で射ること

で、悪鬼や疫病を払うとされていま
した。

節分に豆撒きをする習慣は室町時
代の記録に残っており、既に「鬼は
外、福は内」と唱えていたことも分
かっています。豆のほかに、栗を殻
のまま干した搗栗を撒くこともあつ
たようです。古代中国では穀物には
強い生命力や魔除け力があるとされ
ていたことから、災いを払うために
豆等が使われたのでしょう。また、
現在も三重県等では大晦日に豆撒き
が行われるそうです。

京都の節分では吉田神社の追儺式
や壬生寺の「壬生狂言」が有名です。
壬生寺では年に数回さまざまな狂言
が演じられますが、節分には「節分」
の演目が繰り返し上演されます。ま
たこの日に参詣者は炮烙という焼き
物に名前や願い事を書いて奉納しま
す。大量に集まった炮烙は春の狂言
の「炮烙割り」という演目で盛大に
割られ、厄が払われるということだ
す。

美浜でも節分の風習は広く行われ
ています。
榎や桜の葉と雑魚や鯛等で作り、
戸口等に付ける飾りは「焼い嗅がし」
「アイタクサ」等と呼ばれます。ま
た拍子木を鳴らしながら屋敷を三度
回ったり、家の内外で豆を撒いたり
します。豆を撒く際には家長が「鬼

は外、福は内」と言い、家族が「ごもつ
とも」と答えていたそうです。豆は
年齢より一つ多く食べます。残った
豆はその年の初雷の日に食べるとう雷
除けになると言われます。

豆を炒る際には風占いや虫除けの
祈りが行われました。豆の中に榎の
葉をくべ、はぜると大風になる等と
言われます。

また、節分には厄年のお祓いも行
われます。神社に参拝して親戚や近
所に配りものをするほか、佐田等
は参詣の際に道の四つ辻におひねり
を撒き、子どもたちに拾ってもらっ
たそうです。

(美浜町文化財室)



↑ 囲炉裏で豆を炒る(新庄)

文芸欄

川柳

ハーモニカ吹けば幸せ風薫り

内田 八千子(郷市)

カニ解禁タグ見えるかと覗きこむ

長谷川 美代子(中市)

本番に紛れ込んでる花粉症

片板 慶子(郷市)

戻れない吊り橋の上母の歳

堀川 豊子(山上)

孫の絵を人が誉め行き顔ゆるむ

浅田 恵美子(金山)

作戦を考えている草むしり

田邊 緑(郷市)



慶弔

12/1～12/31 受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
船路 麻寛	男	智寛・麻衣	郷市
西村 唯菜	女	清晴・恵那	佐田

◎ご結婚

氏名(旧姓)	住所
大村 真也 & (中西) 希恵	宮代
田邊 健太 & (永松) 樹里	金山
(遊津) 昌三 & 金吾 京子	河原市
村井 博明 & (宮本) 和美	日向

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
中 嶋 ナ力	興道寺	99歳	中 嶋 豊
神 田 春子	久々子	87歳	神 田 幸成
横 瀬 正一	丹生	86歳	横 瀬 博史
大 橋 隆明	坂尻	88歳	大 橋 和幸
山 口 麗子	河原市	58歳	山 口 智哉
橋 本 豊	久々子	88歳	橋 本 太紀夫
岩 本 初枝	菅浜	89歳	岩 本 政喜
野 村 美樹	佐野	49歳	野 村 治和
高 木 シズエ	新庄	95歳	高 木 正一
忠 田 門三	佐田	88歳	忠 田 明
山 本 賢一	佐田	67歳	山 本 智浩
山 口 なをみ	河原市	75歳	山 口 茂光
高 橋 利枝	麻生	85歳	高 橋 富男

わが家のアイドル



金森 滋さん・夕里さん
(郷市)の長女

咲来 ちゃん(3歳11ヶ月)

歌とダンスが大好き☆
恥ずかしがり屋だけど、トイレに入るとつい大声で歌っちゃってみんなに笑われるの。

兄弟ゲンカもいっぱいするけど、本当はお兄ちゃんも弟も大好きだよ♪

町人 さん

新成人として成人式実行委員会
実行委員長を務められた
(関連記事2頁～7頁)



橋本 慎矢 さん(久々子)

*委員長を務められての感想は？

実行委員全員で集まれる機会も少なく、不安もありましたが、レセプションでは、みんなが予想以上に盛り上がってくれてうれしかったです。

*20歳を迎えての目標を教えてください？

どんな事にも妥協せず、自分の信じた道を突き進みたいです。
また、いつか子どもができた時に、尊敬してもらえるような大人になりたいです。

*橋本さんにとって美浜町とは？

美浜町の人は本当に良い人ばかりで、住み心地が良いです。
ずっとこのような温かい町であってほしいです。

広報みはま・ハートフルクイズ

四文字熟語ブロック分割

パズル面にある漢字群を7つの四字熟語に分割してください。うまく分割できると2つの漢字があまります。それを並び替え、美浜町の土地・地区・場所の名称をつくってください。

例

大	器	不	言	大	器	不	言
和	晩	成	実	和	晩	成	実
洋	折	衷	行	洋	折	衷	行

野	唯	目	食	耳	田
心	一	無	南	視	和
満	満	二	船	北	顔
満	佐	千	山	馬	愛
身	創	瘡	万	水	語

●応募方法

はがきに、答えと住所、氏名(感想も大歓迎!)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。

締め切りは、2月7日(金)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】

kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】



●1月号の答え 金山

●応募者総数は24人で22人が正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

■くらしのカレンダー■

平成26年2月

1 (土)	10:00～美浜冬まつりin新庄(溪流の里)	17 (月)	住民税申告、確定申告受付期間(町役場税務課)～3月17日
2 (日)	13:30～「ぐりとぐら」を作ってみよう！ (町立図書館)	18 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～土地建物登記法律相談(はあとびあ) 13:30～こころの相談室(はあとびあ)
3 (月)		19 (水)	古紙 (東地区)
4 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～こころの相談室(はあとびあ)	20 (木)	10:30～絵本を楽しむ会(町立図書館)
5 (水)		21 (金)	10:00～ミニさくらんぼ(美浜東小学校)
6 (木)	10:00～よちよちおはなし0・1・2(町立図書館) 古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	22 (土)	
7 (金)		23 (日)	8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00エコル美方) 13:00～美浜町制施行60周年記念「壬生狂言」 (なびあす)
8 (土)	美浜町制施行60周年記念 「美浜美術展 特別展 ～美でひらく新しいトピラ～」 (なびあす)～2月16日	24 (月)	
9 (日)	8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00エコル美方) 9:00～町民バスケットボール大会(総合体育館)	25 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ)
10 (月)		26 (水)	
11 (火)	建国記念の日 13:00～美浜町制施行60周年記念式典(なびあす) 15:30～美浜町制施行60周年記念「三ツ石潤司おしゃべりコンサート」(なびあす)	27 (木)	10:00～2歳児歯の発達の教室(はあとびあ) 13:00～3歳児健診(はあとびあ)
12 (水)	古紙 (北・南地区)	28 (金)	
13 (木)	9:30～保育園開放(あおなみ保育園) 10:00～育児学級(はあとびあ) 13:30～6～7か月健診(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	2月の納税 [納期限 2/28(金)] ※納付は口座振替が便利です。 国民健康保険税(8期)・固定資産税(4期)	
14 (金)	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園)		
15 (土)	13:30～妊婦教室(はあとびあ) 15:00～おはなしたまてばこ(町立図書館)		
16 (日)			

- イベント ●健康診断・検診 ●子ども行事 ●ごみ・資源回収
- 行事の予定は、1月17日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
- 網かけの日は、役場はお休みです。
- 古紙 は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。 ●毎週金曜日は **カー・セーフデー** です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数	前月比
10,266人	(- 22)
男 4,978人	(- 9)
女 5,288人	(- 13)
世帯数	
3,726世帯	(- 11)
平成26年1月1日現在	

▽表紙の写真
1月12日に、美浜町成人式がなびあすで行われました。式では、新成人を代表して、岸本有実子さん(松原)が答辞を述べられました。(関連記事2頁～7頁)

こんにちは
寒い日が続いていますが、皆さん風邪等には十分気をつけてください。
今月号の2頁～7頁では、平成26年美浜町成人式の様子と、新成人の皆さんに、将来の夢や、成人を迎えるの思い等をお聞きました。
新成人へのインタビュー等を通して、皆さん成人としての自覚を持ち、しっかりと未来を見据え、それぞれの道を着実に歩んでいることを感じました。
次代を担う彼らの熱い思いが、今後、美浜町に新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。
インタビューをしている中で「美浜町の人は温かくて良い人ばかりです。」という話をお聞きしましたが、そのように話されている笑顔が、私の心をとても温かくしてくれました。(樹)

企画政策課です。